

# 牛久：学校周辺に見る自然

第50号 ひたち野西近隣公園，竜ヶ崎市若柴町

2011年11月3日発行

＜ こんな変わりものたち、教えてね！ ～ふたごのどんぐりや、季節はずれの花 ＞  
野原や林を観察して歩いていると、こんな変わりものたちに出くわすこともあります。



シラカシのどんぐりですが、よく見て下さい。右下の二つは通常つうじょうのどんぐりですが、左上のは一つの座ぶとん（殻斗：かくと）の中に二つの果実が入っています。スダジイなど、他のどんぐりでも、同じようなのが見られるようです。

皆さんも、その気で探すと見つけられるかも。もし、おもしろいのを見つけたら、教えて下さいね。

←シラカシのふたごのどんぐり  
10/6 ひたち野西近隣公園



次は、スギの実（球果：きゅうか）ですが、その頭から小さな枝が出ています。「天突き（てんつき）」と呼ばれていますが、目の前の枝につくほとんどがこのような球果で、こんなにたくさん（10 数個）ついているのは初めて見ました。コウヤマキやコウヨウザンなどでも見られます。

←スギの天突き（てんつき）。

実（球果）の頭から小さな枝が出る。

10/7 竜ヶ崎市若柴町



そしてこちらの写真は、決して春ではありません。つい先日です。桜には冬ふゆざくら桜など、春と秋～冬に年2回さくひんしゅ咲く品種もありますが、そのような品種でもなさそうです。「狂い咲き」などと呼ばれますが、桜は気温など、まわりの環かんきょう境からの刺しげき激に正せいじょう常にはんのう反応しているだけだと気づかされることが多いです。【理科支援員 宮内】

←ほぼ満開の桜

10/18 ひたち野西近隣公園